

## 質問のポイント

### 災害対策について

- 1 新川・東川統合排水機場の早期完成を県に求めよ!
- 2 津波浸水想定区域についてわかりやすい説明を!

### 改良住宅の住み替え事業について

- 1 計画を作成し、完了時期を設定せよ!
- 2 体制を強化し、職場環境を改善せよ!



■改良住宅の中須佐町7号棟



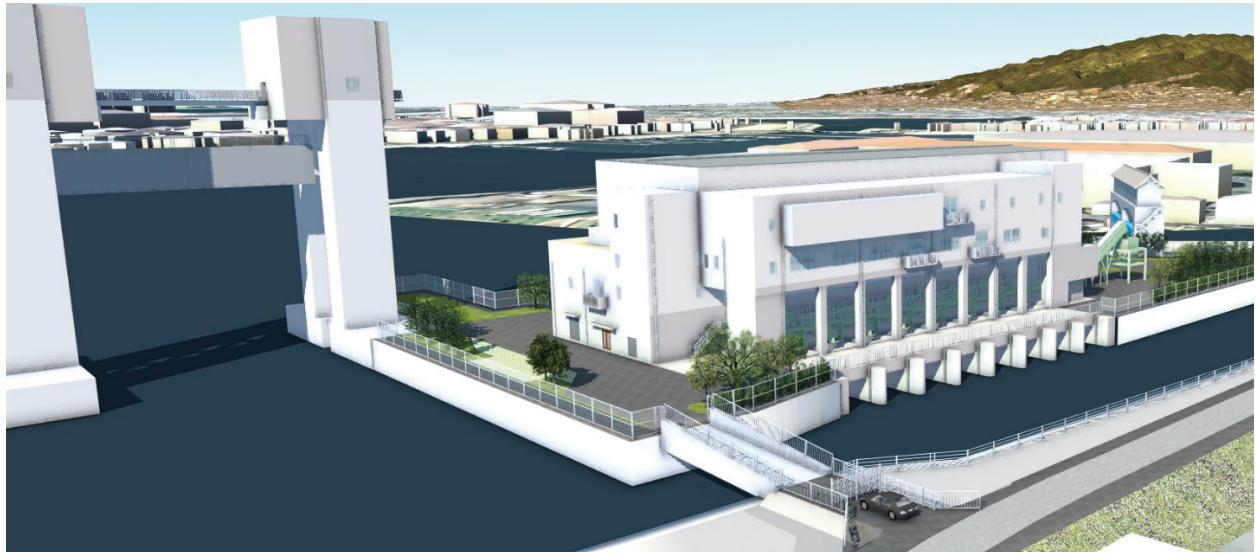
■4人の住宅部職員が勤務する手狭なオフィス＝池田庁舎

-----

-----

-----

-----



■新川・東川統合排水機場の完成予想図。左は新しい新川水門。北東側から望む(兵庫県提供)

(8) 平成27年(2015年)6月25日

西宮市政ニュース

## 南海トラフ地震対策

## 県、「津波防災インフラ整備計画」を公表

# 平成30年度までに西宮・今津、鳴尾地区で防潮水門の移設など重要事業を完了

県は、南海トラフ地震を想定した津波対策として、「津波防災インフラ整備計画(確定版)」を、6月1日に公表しました=下表参照。

西宮地域は、重点整備地区として平成35年度までに全ての事業を完了させる予定になっており、西宮・今津、鳴尾地区での防潮水門の移設や陸隔(りっこう)の改良など緊急・重要な事業については、30年度までに実施する予定です。

全事業が完了すれば、市内の津波浸水想定区域(防潮堤内)が842ヘクタールから163ヘクタールに、約81%縮減されます。浸水が残る区域も、居住区域は避難行動が取れる深さ30センチ未満に軽減されます。

津波防災インフラ整備計画(確定版)事業内容		
事業内容	規模	スケジュール
防潮水門の移設	洗戎川水門(1基)、新川・東川統合水門(1基)	平成30年度まで
陸隔の改良(遠隔操作化)	西宮・今津地区2基、鳴尾地区1基	平成35年度まで
防潮堤の越流対策	西宮・今津地区1.1km	平成35年度まで
防潮堤の沈下対策	鳴尾地区1.3km、西宮・今津地区1.1km	平成35年度まで

### 西宮・今津地区の対策概要図

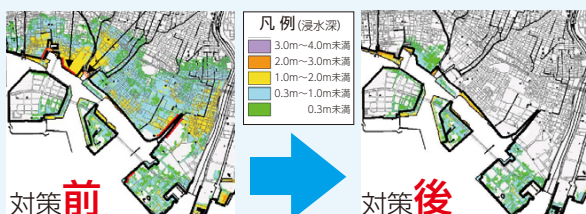
※整備計画について詳しくは市のホームページ(くらしの情報→防災→防災のお知らせ)をご覧ください



(※赤色の下線は菅野)

## 平成35年度までに浸水区域が81%縮減

浸水が残る居住区域も避難可能な深さ30センチ未満に



## 油断しないで！！ 津波避難は今までどおり JR神戸線以北か3階以上へ

県の対策が実施されても、想定を上回る地震が発生する可能性もあります。巨大地震の発生時は、**今までどおりJR神戸線以北へ避難**してください。遠くまで避難できない人や逃げ遅れた人は「津波避難ビル」など近

くの堅固で高い建物の3階以上に避難してください。また、揺れに対しても**今までの対策が必要**です。家屋の耐震化や家具の転倒防止などに取り組んでください。

問 災害対策課(0798・35・3626)

※現在は「鳴尾御影線より北側」に変更(菅野)